【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】平成23年10月13日(2011.10.13)

【公開番号】特開2011-78968(P2011-78968A)
【公開日】平成23年4月21日(2011.4.21)
【年通号数】公開・登録公報2011-016
【出願番号】特願2010-212322(P2010-212322)
【国際特許分類】
Ｂ０１Ｄ　53/94　(2006.01)
Ｂ０１Ｄ　53/86　(2006.01)
Ｂ０１Ｊ　29/76　(2006.01)
Ｆ０１Ｎ　3/08　(2006.01)
Ｆ０１Ｎ　3/10　(2006.01)
Ｆ０１Ｎ　3/24　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ０１Ｄ　53/36　１０２Ｂ
Ｂ０１Ｄ　53/36　ＺＡＢＥ
Ｂ０１Ｄ　53/36　１０２Ｈ
Ｂ０１Ｊ　29/76　Ａ
Ｆ０１Ｎ　3/08　Ｂ
Ｆ０１Ｎ　3/10　Ａ
Ｆ０１Ｎ　3/24　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成23年8月25日(2011.8.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４４】
注目すべきは、水素含有量が最適量未満（例えば５００～２５０ｐｐｍ）である場合の反応温度によるＮＯｘ転化率の変化である。ＮＯｘ転化率は、２５０～４５０℃において本質的に一定のままであり、反応温度のさらなる上昇にともない若干低減される。このことは、反応速度が、広い温度範囲内の反応温度で実質上変化しないことを示している。同様の傾向が、排気ガス中に残存するNH_3の量の分析によって関連づけることができる（図６、下部）
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項６】
前記アルミナがベーマイトである、請求項４に記載の方法。